

丹沢ボラネット瓦版

2023年9月号 No.115



ルリボシカミキリ（春岳山にて（7月））

「大山を歩く」（町田グラウス山の会 森島 眞知子）

7月下旬にヤビツ峠からイタツミ尾根を通して大山山頂を往復しました。連日猛暑のころですが、峠がすでに760mのためそれほど暑くなく、登山道は風が通り、ウグイス、ホトトギス、エゾハルゼミの声を聞きながら気持ちよく歩けました。

所々に提灯の様なヤマホタルブクロが咲いています。ヤマホタルブクロは両性花ですが、先に雄しべが成熟して花粉を出し（雄性期）そのあと雌しべの先端が3つにわけて、虫が運んできた他のヤマホタルブクロの花粉を受け入れて受粉するという、自家受粉を避ける工夫をしています。花を見つけるたびに中を覗いて「今は男の子」「これは女の子」などと言って楽しみました。他にはキヌタソウやバライチゴが控えめに花を咲かせていました。

山頂に近づくにつれてタンザワイケマの白い小さな花が目立ってきました。タンザワイケマは丹沢山が基準産地のガガイモ科のつる性植物（有毒）で、草地や崩壊地に生えます。モミなど樹林の衰退で日当たりが増え、またシカも食べないため、急激に増えてきたようです。帰りに春岳山に寄り道した際、草原で私の大好きなルリボシカミキリに出会い、感激！青の絵の具の様な鮮やかな色にしばし見とれました。

コロナ禍がようやく収まりつつある今年は、全国で登山者が増え、大山周辺でも遭難が増えているようです。特に表参道の16丁目分岐～下社～蓑毛越や雷の峰尾根で、転滑落が頻繁に起きています。また下社からのかごや道では道迷いも多く発生しています。事故・遭難は疲れもたまってくる下山時に多いようです。これから10月11月と日没が驚くほど早くなります。体力・経験・時間・装備を十分に考えた計画をしっかりと立てて山に臨みたいものです。



タンザワイケマ

令和5年度水質調査の報告

報告者 丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会

結果概要

- 調査か所数 22 か所
(うち2か所は断水・水道装置故障により中止)
- 大腸菌検出箇所 7 か所
後沢乗越水場、二俣の水場、大倉高原山の家水場、皆瀬川人遠、用木沢出合、一軒屋避難小屋前水場、エビラ沢出合
- ※ 大腸菌や一般細菌が検出されていない水場についても、必ず煮沸等をおこなってから飲んでください。

丹沢大山水質調査とは

「丹沢大山水質調査」は2004年度頃から実施され始め、当初は丹沢大山総合調査の一環として行われていました。途中から丹沢大山ボランティアネットワークが引き継ぎました。

現在は丹沢大山ボランティアネットワークが「丹沢の緑を育む集い実行委員会」との共催として事業を継続しています。新型コロナ禍で2020年度、2021年度と二年間中止していましたが、昨年2022年度から再開しています。

調査場所は、丹沢訪問者が比較的利用しやすく、利用頻度が高い22か所を選んでいますが、そのうち2か所は、断水・水道装置故障により採水できず実施していません。

水質調査には以下の丹沢大山ボランティアネットワーク参加団体に取り組んでいただきました。お忙しい中調査にご協力いただき、ありがとうございます。

- ・ NPO法人丹沢自然保護協会
- ・ 神奈川県勤労者山岳連盟
- ・ NPO法人丹沢自然学校
- ・ NPO法人北丹沢山岳センター
- ・ NPO法人四十八瀬川自然村
- ・ NPO法人伊勢原森林里山研究会

調査項目・検出基準

調査項目は、厚労省の水質基準項目及び基準値を参考にして、11項目について調査しました。中でも重要な一般細菌と大腸菌について考えましょう。

一般細菌の厚労省水質基準値は100CFU/mlです。この単位CFU/mlは、1mlの試料を培地で培養した結果、できた集団数（Colony Forming Unit）です。一般細菌という名前の細菌があるわけではなく、いわゆる雑菌のことで、河川や土壌、空気中や体内などに広く存在し、病原性の無いものがほとんどです。しかし汚染された水ほど一般細菌が多く含まれるため、水の汚染状況を知る目安となります。

また大腸菌は、主として動物や人の排泄物や土壌生物による汚染の指標となるもので、「検出されない」ことが基準です。

水質調査の結果と考察

- 今回の調査では、一般細菌が基準値（100CFU/ml）を超えて検出された箇所はありませんでしたが、かなり多くの地点で基準値以下ながら一般細菌が検出されています。特に次の地点では高い数値が検出されました。

7. 大山弘法の水場…20CFU/ml

22. エビラ沢出合…42CFU/ml

- また、大腸菌は7か所で検出されました。

11. 後沢乗越水場 12. 二俣の水場 13. 大倉高原山の家 15. 皆瀬川入遠
18. 用木沢出合 19. 一軒家避難小屋前水場 22. エビラ沢出合

このうち11. 12. 15. の3地点では前回（2022年度）も大腸菌が検出されています。

また13. 18. については前回（2022年度）は調査できなかったのが比較が難しいですが、18は前々回（2019年度）の調査でも大腸菌が検出されています。（13は2019年度も調査なし）

22. は今回新たに大腸菌が検出され、一般細菌の数値も高いです。

- 水質は季節やその年の天候、（コロナ禍などによる）人の動き、山の植生の状態などに左右されて変化すると思われるので、継続的に調査をしていく必要がありますが、丹沢で沢水や湧水をそのまま飲むことは、どんなに冷たく美味しそうに見えても大変に危険です。ほんのわずかでも一般細菌が含まれている水を持ち帰り常温におけば、細菌が増殖します。冷蔵庫に入れても長時間が経てば増殖します。

沢水・湧水は必ず煮沸してから飲んでください。

令和5年度水質調査結果一覧

調査地点	採水日	明後水質検査項目										水場周辺の状況		気象の状況				
		大腸菌 CFU/ml 100CFU/ml以下	亜硝酸態窒素 mg/l 0.04mg/l以下	亜硝酸態窒素 mg/l 10mg/l以下	塩化物イオン mg/l 200mg/l以下	有機物 3mg/l以下	pH値 5.8以上8.6以下	味 異常でないこと	臭気 異常でないこと	色度 5度以下	濁度 2度以下	ゴミ散乱 野外排灌	トイール トイール	水場種類	天候 当日	天候 前日	気温 ℃	水温 ℃
1 半原越付近	5月24日	不検出	0.004未満	0.5	2.0	0.4	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	雨	16	12
2 日向林道起点水場	5月3日	不検出	0.004未満	0.6	2.3	0.4	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	晴	-	13
3 蓮華屋敷跡	5月24日	不検出	0.004未満	0.5	1.5	0.3未満	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	雨	15	11
4 堂平沢	5月24日	不検出	0.004未満	0.1	0.8	0.6	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	流水	晴	雨	12	10
5 原小原平水場	6月10日	不検出	0.004未満	0.2	0.6	0.4	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	沢水	晴	曇	20	13
6 桑校山遊憩小屋	6月10日	不検出	0.004未満	0.4	0.9	0.5	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	曇	20	14
7 大山 弘法の水場	5月26日	不検出	0.004未満	0.6	2.1	0.3	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	晴	16	13
8 春嶺湧水	5月26日	不検出	0.004未満	0.5	1.7	0.3	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	晴	16	12
9 葛原の泉	5月3日	不検出	0.004未満	0.5	2.3	0.3未満	7.5	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	晴	22	16
10 竜神の泉	5月3日	不検出	0.004未満	0.8	1.9	0.3	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	晴	22	17
11 後沢巻越水場	5月28日	検出	0.004未満	0.3	1.1	0.4	7.6	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	晴	曇	20	13
12 二俣の水場	5月28日	検出	0.004未満	0.3	1.2	0.4	7.6	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	沢水	晴	曇	19	13
13 大倉高原山の沢水場	5月28日	検出	0.004未満	0.7	1.4	1	7.6	-	正常	4	0.5未満	なし	なし	沢水	曇	晴	20	14
14 塔ノ岳水場	5月28日	不検出	0.004未満	0.1未満	0.8	0.3未満	7.6	正常	正常	2	0.5未満	なし	なし	湧水	時々	晴	15	9
15 岩瀬川人達	5月3日	検出	0.004未満	0.5	2.6	0.4	7.6	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	湧水	-	晴	24	16
16 西丹沢集民の森	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 仲ノ沢法面湧水	5月21日	不検出	0.004未満	0.4	1.1	0.3	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	落ち葉等	なし	湧水・法面にバケツ	曇	晴	22	14
18 周木沢出合	6月18日	検出	0.004未満	0.3	0.9	0.6	7.6	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	流水	晴	晴	16	10
19 一軒屋遊憩小屋前水場	6月18日	検出	0.004未満	0.1	1.0	0.6	7.6	-	正常	1未満	0.5未満	ガラス片等	なし	流水	晴	晴	18	10
20 犬越路すい道水場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21 犬越路 日陰沢	6月5日	不検出	0.004未満	0.6	5.9	0.3未満	7.6	正常	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	沢水	晴	-	23	11
22 エドウ沢出合	6月5日	検出	0.004未満	0.2	1.0	0.3未満	7.6	-	正常	1未満	0.5未満	なし	なし	流水	晴	-	25	13

※大腸菌等が検出された箇所は、味の検査は不可

№16、20…断水、水道装置故障等のため採水できず

丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

丹沢環境推進会議 議長小林 昭五

関東大震災から 100 年

神奈川県、丹沢大山地域、秦野市、中井町等も大きな影響被害を受けました。
今年は関東大地震から100年が経過し、県内各地でも秦野市でも資料展等が行われています。

丹沢大山自然再生委員会でも活動報告会のシンポジウムテーマは、今年度は「**関東大震災から100年**」と決定し取り組んでいます。



震生湖（秦野市 中井町）

↑写真 秦野市と中井町にある震生湖

関東大地震（1923 年・大正 12 年 9 月 1 日）の影響でつくられた湖です。

震生湖のある場所の案内

弘法山、権現山は大山の南稜線の裾にあります。



権現山の案内板（秦野盆地東側から写す）

←写真（震生湖は盆地南側の大磯丘陵に有る）

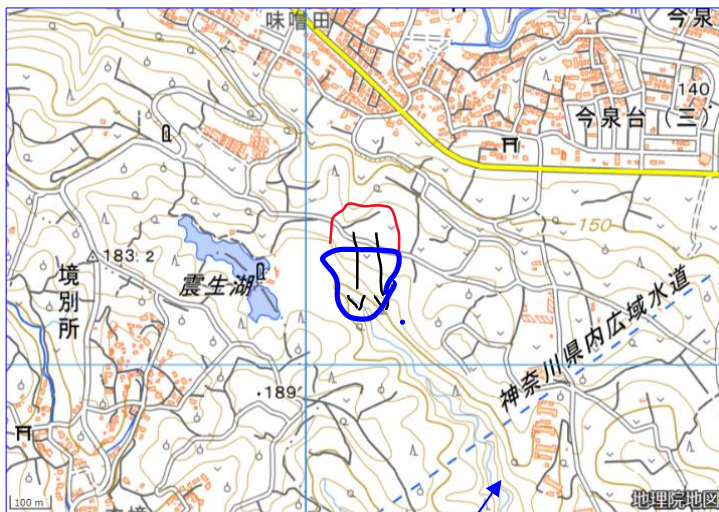
秦野盆地は大磯丘陵と丹沢で囲まれている。

震生湖

大きさ 13,000 m² 周囲約 1,000m 最大水深 10m 平均水深 4m
大磯丘陵の北西部（渋沢丘陵）にある市木沢（流れる川は藤沢川→中村川→相模湾）の最上部北斜面の山林等が幅 250m、高さ 30mほど地滑りし崩壊しました。（地図の赤い線部分）

そのときの地滑り崩壊土砂が、市木沢を埋めて震生湖が誕生しました。関東大地震から 100 年が経た今日でも、堰止湖をつくる「湖面」「崩落地」「堰止地」が確認できるので稀少です。（登録記念碑文）

関東大地震の規模の大きさを、今日まで伝える重要な地質遺産であるため、令和 3 年 (2021) 3 月 26 日に国登録記念物に登録されました。



青部分（堰止土砂） 市木沢（藤沢川・青い線）

↑写真 震生湖周辺の地形図



↑写真 国登録記念物 碑

震生湖の東側降り口道路付近の南斜面の赤い部分が崩壊部分で、方向は沢底に向かって矢印の方向です。青く囲まれた部分が土砂で埋め尽くされ市木沢を埋め尽くしました。その結果震生湖が誕生しました。

震生湖の東側入り口を東へ約100m先に南側に細い草で覆われた細い農道があります。その農道を市木沢方向へ下ると、やっと市木沢へ出ることができます。市木沢底につく少し前に路頭があり、渋沢丘陵の箱根火山が原因の東京軽石層等も観察できます。今は草木等が覆い被さり市木沢へ降りるのが大変です。

新しくつくられた堰止湖（震生湖）の調査は大地震の直後から専門家により行われました。

昭和5年には東京帝国大学地震研究所の寺田寅彦先生達が二度測量調査に来たのが有名な出来事で、震生湖誕生が注目を集めました。

寺田寅彦先生は夏目漱石とも親交はあり随筆家であると共に物理学者、地震学者でもあります。

特に「天災は忘れた頃にやってくる」は先生の残した有名な言葉です。

湖畔には先生の読んだ句碑が建っています。

これも震生湖を知る大切な碑です。

写真 寺田寅彦先生の句碑 →
山さけて 成しける池や 水すまし



丹沢大山ボラネット講演会のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に中止となった青木雄司氏による講演会を、令和5年10月21日（土）に実施します。

また、当日は、加盟団体間の交流を図るため、いくつかの団体に活動状況のご報告等をいただく予定です。（内容については、世話人会で調整中です。）

詳細が決まりましたら、各団体あてご連絡いたしますので、各団体の会員に周知いただき、積極的な参加をお願いします。

- 実施日時 令和5年10月21日（土） 9時30分～12時
- 場 所 神奈川県自然環境保全センター（レクチャールーム）
- 講 師 青木 雄司 氏
（神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員、青山学院大学 非常勤講師、日本哺乳類学会 会員）
- テーマ 丹沢の哺乳類について

丹沢ボラネット瓦版2023年9月号（通巻115号）9月6日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五